

## 産業建設常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和4年12月9日(金) 午前10時0分
- 2 閉会日時 令和4年12月9日(金) 午前10時39分
- 3 会議場所 熊山支所大会議室
- 4 出席委員  
2番 鼻岡 美保君                      7番 佐々木雄司君                      11番 治徳 義明君  
13番 金谷 文則君                      16番 佐藤 武文君                      18番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員  
なし
- 6 説明のために出席した者  
農林課長 矢部 勉君                      商工観光課長 大崎 文裕君  
地域整備推進室長 森本 祐司君                      建設課長 福圓 章浩君  
上下水道課長 中務 浩行君                      農林課参事兼地域整備推進室参事 三田 義雄君  
赤坂支所産業建設課長 石井 徹君                      熊山支所産業建設課長 砂子 武久君  
吉井支所産業建設課長 岡田 浩司君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 土井 常男君                      副参事 野田 順子君
- 8 審査又は調査事件について
  - 1) 議第55号 財産の処分について
  - 2) その他
    - ・令和4年度事業の補正について
    - ・事業の進捗状況について
    - ・その他

午前10時0分 開会

○委員長（金谷文則君） それでは、皆さんおはようございます。

ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。

換気のため、会議室の出入口については開けたまま進めさせていただきますので、よろしく御協力のほどお願いいたします。

また、会議の時間短縮に心がけたいと思いますので、執行部の説明及び委員の質疑につきましては簡潔明瞭をお願いいたします。

執行部より是松産業振興部長及び高橋建設事業部長の欠席の申出がございましたので、御報告申し上げます。

それでは初めに、友實市長より御挨拶をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆さんおはようございます。

本日は、大変御多忙の中、産業建設常任委員会をお開きいただきましてありがとうございます。

なお、本日の御審査をお願いする案件でございますけれども、12月定例市議会に上程させていただいております議案の1件について審査をお願いしたいということでございます。

また、その他の項として、令和4年度事業の補正、あるいは事業の進捗等について報告、御協議をさせていただけたらと思います。何とぞよろしくお願い申し上げます、挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、これから委員会の審査に入ります。

当委員会に付託された案件は、議第55号財産の処分についての1件でございます。

佐々木委員、よろしいか。

○委員（佐々木雄司君） 大丈夫です。

○委員長（金谷文則君） 続きます。それでは、議第55号財産の処分についてを議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がございましたら、お願いいたします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、議第55号財産の処分につきましては、本会議場での説明のとおりでございます。補足説明はございません。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、執行部、補足説明がないということでございますので、これから質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 価格について、本会議場でも同僚議員のほうから質問が出ておりました。そのときに平米当たりが2,200円か300円かというような御回答をされておったと思いますので、その価格が適正であるかどうかについての確認をさせていただきたいと思うんですけど、その価格の決定について、いきさつについて説明をしていただきたいというふうに思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） こちらの価格の設定につきましては、不動産鑑定士の方をお願いをして価格を決定させていただいております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 不動産鑑定士は1者に絞られたのか、何者を検討されたのか、そのことについて説明をいただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 市内に1者、不動産鑑定士の方がおられます。この方をお願いをして不動産鑑定を行っていただいております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） その不動産鑑定士の価格は適正であったかどうかという確認は、どのような形で確認をされたかということについて御報告をいただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 報告書によりますと、周辺の取引事例、それから路線価など

を勘案されて、不動産鑑定士の方が価格を設定されておりますので、正当な価格というふうに考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員、よろしいか。

○委員（佐藤武文君） はい。

○委員長（金谷文則君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 財産処分しまして売払いますと、その後、工場の建設から操業開始までのマイルストーン、これはどんなスケジュール感になってますでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 工場建設につきましては、第1期工事を来年、令和5年12月頃までに終わらせたいというふうに申請書のほうでは出ております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 操業開始などについての情報というのは、ないわけですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 操業に関してですが、第1期を令和5年12月頃、第2期の工場を令和7年12月頃、操業開始予定をしたいというふうに申請書のほうに記載がございまして、そういった計画で進められておるといふふうに思っております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐々木委員、よろしいか。

○委員（佐々木雄司君） はい、いいです。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、これで質疑を終了したいと思います。

それでは、ただいまから本委員会に付託されました議第55号財産の処分についてを採決したいと思います。

議第55号財産の処分について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。起立全員であります。したがって、議

第55号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で当委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

次に、閉会中の継続調査及び審査についての御確認をお願いいたします。

配付しております継続調査及び審査一覧表のとおり、議長に対し閉会中の継続調査及び審査の申出をしたいと思いますが、これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） よろしいということでございますので、それではこのように申出をさせていただきます。

次に、閉会中の委員派遣についてお諮りをいたします。

閉会中の審査及び調査案件の調査のため、委員派遣を行う必要が生じた場合、議長に対し委員派遣承認要求を行うこととし、派遣委員、日時、場所、目的及び経費等の手続につきまして委員長に一任させていただきたいと思いますが、これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、そのようにさせていただきます。

次に、その他に入ります。

令和4年度事業の補正について、執行部の説明の後、質疑を行いたいと思います。

なお、11月17日開催の議会全員協議会におきまして、予算常任委員会ではそれぞれの常任委員は所管部分に関しての質疑を原則行わないように申し合わせておりますので、この委員会で十分御確認をいただきたいと思います。

それでは、令和4年度事業の補正について、部ごとに進めたいと思います。

まず、産業振興部から説明をお願いいたします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、産業振興部資料6ページをお願いいたします。

令和4年度事業の補正につきましては、その次の7ページに一般会計補正予算の一覧表を添付しておりますので、御覧ください。

併せまして、補正予算説明資料の16ページ、17ページをお願いいたします。

7款1項3目観光費で需用費、光熱水費におきまして、原油価格高騰などの影響により山陽産業会館、お笑い赤坂亭、熊山英国庭園の電気料不足が見込まれるため、163万1,000円を増額

補正するものでございます。

商工観光課からは、説明は以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。以上ですね。

ただいまの事業の補正についての質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございます。

それでは、これで産業振興部の質疑は終了したいと思います。

続きまして、建設事業部からお願いをいたします。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） それでは続きまして、令和4年度事業の補正について地域整備推進室から説明をさせていただきます。

建設事業部資料の2ページを御覧ください。

併せまして、補正予算説明資料の16ページ、17ページを御覧ください。

令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）について、8款土木費、4項都市計画費、1目都市計画総務費で、都市計画の変更に係る国等への説明資料の作成及び法手続に必要な図書を作成するための委託料として1,200万円を増額補正するものです。

この補正につきましては、立地適正化計画の素案も固まりつつあり、また都市計画の変更に  
関する県や国との最初の段階の協議も順調に進んだことから、次の段階として農政局など関係  
省庁との具体的な調整をさらに進めるとともに、市街化区域への編入、用途地域の変更とい  
った都市計画の変更に  
関する法手続に向けた準備に取りかかる必要があるため、補正を行うもの  
です。

なお、都市計画の変更に  
向けた農政局など関係省庁との協議や調整には相当の時間を要する  
ことから、次年度への1,200万円全額の繰越明許費の補正も併せて行うこととしています。

説明は以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

説明が終わりました。

ただいまの事業の補正についての質疑はございませんか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 先ほどの説明の中で、計画が大体ほぼ固まりつつあるというような御報告の説明があったんですけど、我々、議会の中ではいろいろな議論がまだ煮詰まってないというようなことの中で、先般の議会全員協議会においても、議員間の中でいろいろな議論が交わされたような状況がありました。そういうことの中で、議論が深まったように私は感じてい

ないんですけど、議会がそういうふうな議論が固まっていない中で、こういうふうな予算を計上し、執行するという考え方は、ちょっと私は早いのではないかなあという感じを受けておりますけど、執行部はいかがな見解を持っておられるのかということについてお伺いしたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 先ほどの佐藤委員からの質問についてでございますが、先般の議論を受けて、まだ議論が煮詰まってないというお話だろうかと思いますけれども、担当室としましては、これまで令和2年9月から立地適正化計画検討協議会のほうで今後の都市計画区域における方向性というものを議論してきました。その内容について委員会のほうへも御報告をさせていただいております。

併せまして、この都市計画の変更に関しましては、国や県とこういう方向性で都市計画を変更していきたいということで協議を進めてまいりました。ですので、これは事務的な流れとして今回補正をさせていただくわけでございますけれども、まだ御理解がいただけていない部分につきましては、素案の完成までにいろいろとまた御説明の機会を設けるなど、御説明をしっかりとさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 協議会のほうでいろいろ議論を重ねておられるというような説明があったわけでございますけど、協議会の委員の皆様方の見解と議員の見解とが、大きな今言う考え方の見解の相違があるというようなことの中で、議会ではなかなか見解を得るということが非常に私は難しいのではないかな、もう少し時間をかけて議論をすべきではないかなあというふうに私自身は思っております。そういうことの中で、今回1,200万円の予算を計上されておられますけど、その1,200万円の予算の内訳について、ちょっと詳しく私は説明をお伺いしたいと思っておりますので、説明をいただきたいと思っております。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 内訳ということでございますけれども、今回1,200万円の、まず業務に関してのどういった業務が必要かということの説明させていただきます。

業務内容についてなんですけれども、関係省庁への説明資料作成としまして、まず根拠資料の作成として、国勢調査や都市計画基礎調査、空き家調査、過去の転用の状況など、関連データの収集とか整理、それから県南広域計画マスタープランや立地適正化計画などとの整合性の整理、市街化区域の人口及び産業の将来推計、農地、水路等の土地利用の状況の調査と図示

化、土地の権利調査、こういったことが根拠資料の作成となります。

また、土地利用の方針としまして、市街化編入の規模の妥当性や必要面積の根拠の作成、用途地域の配置計画の作成、それから市街地の開発計画図、道路とか、水路とか、施設の配置になりますけれども、そういったものの作成、それから全体の図面の作成としまして、市街化区域や用途地域の変更を示す位置図や計画図、用途地域図などの各種の図面を説明資料として作成をしていくこととなります。

そして、これらの資料を基に関係省庁との協議を行いながら、都市計画の変更に係る法定図書も併せて作成をしていくといった業務内容でございます。この内容について見積りを取って、予算のほうを計上させていただいております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 先ほどいろいろ詳しく詳細に説明をしていただいたわけですが、説明の中で私が聞いておまして、ほとんど職員でできる作業というふうに私は思えないんですね。別にこういう作業を外の業者に対してお願いをしなければできないような内容では一切なかったと思うんですけど、なぜ職員がその作業ができないのかということについて、もう少し説明をいただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 職員ではできないかというような御質問かと思っておりますけれども、当然職員でできることに関しましては、職員のほうでしっかりとやらせていただきます。ただ、都市計画全体を見渡した情報の整理というところになりますので、膨大な作業や資料の収集、解析、そういったものを行う必要があります。専門の技術者の支援を得ないと業務が効率的に進まないという部分もございますので、御理解いただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私は、全く理解ができないんですね。前回は農業支援センターの関係も業者にしてもらわなければならないというようなことの中で、そのときも恐らく1,200万円という金額が出てきておったと思うんですけど、今回も業者に依頼するときに1,200万円という、私はその根拠をもう少し我々議会に対して分かりやすく説明をしていただきたいんですね。いろいろなことについて、こういうようなことをしてもらおうというような作業内容については詳しく説明があったんですけど、その1,200万円の根拠について、もう少し分かりやすく説明をいただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 内訳ということですね。



○委員（佐藤武文君）　そうです。

○委員長（金谷文則君）　内訳についての説明をお願いいたします。

○地域整備推進室長（森本祐司君）　委員長。

○委員長（金谷文則君）　森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君）　内訳についてですけれども、先ほどそれぞれ根拠資料の作成とか土地利用方針、それから図面の作成、そういった項目を御説明させていただきましたけれども、これに係る人夫について見積りを取りまして、計上させていただいておるものでございます。これには、データの分析とか収集、解析、そういったものや、現地を歩いて現場の状況、例えば農業用水が今どういう状態にあるとか、農地の状況がどういう状態にあるとか…

…。

○委員長（金谷文則君）　森本室長、そういうのはさっきの説明で分かってるので、要するに十把一からげで一式見積りなのか、個々に明細をいただいとるんか。個々に明細をいただいとんなら説明をいただきゃいいし、それができないんなら、できないとおっしゃってくださったら、それで結構ですから、長々と同じことの繰り返しは必要ありませんので、お願いします。

○地域整備推進室長（森本祐司君）　はい、すいません。先ほどの作業項目を上げまして、個々に見積りを積算していただいた上で、一式で計上をしております。

○委員（佐藤武文君）　委員長。

○委員長（金谷文則君）　佐藤委員。

○委員（佐藤武文君）　私は何回も聞きたくはないんですけど、1,200万円を1者でそういうふうな見積りを取られたのか、何者で見積りを取られたのかについて、ほんなら説明をいただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君）　答弁を求めます。

○地域整備推進室長（森本祐司君）　委員長。

○委員長（金谷文則君）　森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君）　これは、都市計画に精通する業者から、2者から見積りを取っております。

　　以上です。

○委員（佐藤武文君）　2者か。

○委員長（金谷文則君）　2者ということです。

○委員（佐藤武文君）　委員長。

○委員長（金谷文則君）　佐藤委員。

○委員（佐藤武文君）　その2者から取られた見積りの差額はどのくらいあったんでしょうか、そのことについて説明をいただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君）　答弁を求めます。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 2者の差額につきましては、900万円程度ございましたが、その中から市ができるものを差っ引きまして、今回の1,200万円を計上させていただいております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員、いかがでしょうか。

よろしいですか。

○委員（佐藤武文君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございます。

それでは、建設事業部のことについての補正についての質疑はこれで終了したいと思います。

続きまして、事業の進捗状況について、執行部より説明をお願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、産業振興部資料の2ページを御覧ください。

3番、事業の進捗状況、(1)がんばろう赤磐物価高騰緊急対策農畜産経営支援金について御説明いたします。

また、資料3ページがこれのチラシの案でございますので、併せて御覧ください。

農業肥料、資材及び畜産飼料の価格高騰の影響を大きく受けている市内農畜産業者に対して負担軽減を図るため、支援金を支給させていただくものでございます。

支援金の対象は、赤磐市内に住所を有する農業者、赤磐市内に本店、支店または営業所を有する農業法人、市の認定農業者、認定新規就農者、または集落営農組織で今後も農業経営を継続する意思があり、対象作物のいずれかの令和4年度作付面積が10アール、1反以上であることなどです。畜産業者におきましては、家畜伝染病予防法に基づく令和4年の定期報告書を県に提出していることが要件となります。各作物や畜産経営におけます交付対象額につきましては、資料及びチラシに明記してございますような内容でお示しさせていただいております。

現在、市の広報紙等や関係団体への協力要請など周知を図りながら、関係する準備を急ピッチで進めております。

それから次に、2ページの(2)収入保険加入支援事業補助金でございます。

資料の4ページを御覧いただきますと、これのチラシの案になっておりますので、併せて御覧ください。

この収入保険加入支援事業補助金は、新型コロナウイルス感染症の影響など、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクに備えるため、農業経営収入保険に加入している農業者に対して、その保険料の一部を助成するものでございます。昨年度に行いました助成事業の第2弾として実施するものでございます。

以上、農林課、事業の進捗状況の御報告でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いてお願いをいたします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、事業の進捗につきまして商工観光課から御説明いたします。

産業振興部資料の6ページをお願いいたします。

(1)がんばろう赤磐コロナ対策飲食店感染防止奨励金につきましては、交付決定数が49件、交付決定額が980万円で、先月から1件増加がございました。

続きまして、(2)がんばろう赤磐原油高騰対策運送事業者支援金につきましては、交付決定額が688万5,000円、交付決定数が16件でございます。先月から5件の増加がございました。

商工観光課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

説明が終わりましたので、ただいまの産業振興部のほうの関係の質疑はございますでしょうか。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 物価高騰緊急対策農畜産経営支援金についてなんですけど、市内には水産業者っていらっしやらなかったですかね。数は少ないと思うんですけど、件数はゼロですかね。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 農林課で把握しとる情報では、ありません。（後刻訂正）

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいか。

○委員（佐々木雄司君） 結構です。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君）　じゃあ、ないようでございます。これで質疑を終了したいと思います。

続きまして、その他のその他について、執行部より説明をお願いいたします。

産業振興部、農林課、商工観光課、説明はありますか。

○農林課長（矢部　勉君）　委員長。

○委員長（金谷文則君）　矢部農林課長。

○農林課長（矢部　勉君）　それでは、その他の御説明です。

産業振興部資料の5ページを御覧ください。

4その他につきまして御説明いたします。

(1)令和4年度岡山県うまいくだもの推進大会でございますが、ぶどうの生産意欲高揚と生産技術向上を図り、高品質果実の生産や長期安定生産を進め、県産ぶどうの供給力拡大、ブランド力の強化を図るため、本推進大会が開催されており、今年度は御覧のような開催となりました。各受賞につきましては、赤磐市内生産者5名の方が入賞されております。

次に、(2)パスクラサン収穫体験実習でございます。

昨年に続きまして、瀬戸南高等学校の生徒さんによる市特産品の一つでありますパスクラサンを課題とし、研究の一環で収穫体験を行っております。

以上、農林課からその他の御報告でございます。

○委員長（金谷文則君）　続いてお願いいたします。

○商工観光課長（大崎文裕君）　委員長。

○委員長（金谷文則君）　大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君）　それでは、商工観光課からその他について御説明をさせていただきます。

産業振興部資料の6ページをお願いいたします。

(1)熊山英国庭園クリスマスコンサートにつきましては、3年ぶりの開催となります。地域の活性化や熊山英国庭園への誘客を目的に開催されるもので、市内の中学生の吹奏楽や弦楽四重奏などのコンサートが行われます。

また、12月17日から27日まで、庭園を彩るイルミネーションが20時まで点灯されますので、ぜひお立ち寄りいただければと思います。

8ページのほうにチラシを添付させていただいておりますので、後ほど御確認いただけたらと思います。

商工観光課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君）　ありがとうございました。

執行部からの説明が終わりました。

○市長（友實武則君）　委員長。

○委員長（金谷文則君） はい。ちょっと待ってください。今の2つのことについての補足ですか。

○市長（友實武則君） はい、委員長、すいません。

○委員長（金谷文則君） それじゃあ、補足をお願いします。

友實市長。

○市長（友實武則君） ちょっと協議させていただきたくて、暫時休憩をお願いします。

○委員長（金谷文則君） 暫時休憩いたします。

午前10時32分 休憩

午前10時33分 再開

○委員長（金谷文則君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、説明が終わりました。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） はい、何でしょう。

○農林課長（矢部 勉君） 先ほどの……。

○委員長（金谷文則君） 何をやりたいか言ってから、言ってください。

○農林課長（矢部 勉君） 佐々木委員から御質問いただいたことについての、ちょっと一部訂正です。

○委員長（金谷文則君） それじゃあ、お願いします。

矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） すいません。先ほど水産業のほうは、赤磐市のほうはどうなのかと御質問いただいた件ですけれども、センサス上——水産業のデータはございませんけれども、ちなみに2020年のセンサスです——は、水産業のほうは特に何もありませんけれども、養鰻場が1つあります。

以上、御報告です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐々木雄司君） はい。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

もう以上でよろしいですね。

それでは、説明が終わりました。

今の説明についての質疑がございましたら、お願いをいたします。

○副委員長（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） すいません、農林課のほうにちょっと確認をさせてください。

先ほどパスクラサンの収穫体験、瀬戸南高校さんが頑張っていたら報告がありました。

た。先般、一般質問でも唯一の特産品だということで質疑があったところでありまして、新聞報道なんかでも、瀬戸南高校さんが頑張ってるというのはよく報道もされるんですけども、少し前にパスクラサンについては赤磐市も頑張っていかなきゃいけないというふうなことがあります。それで、聞き及びますと、例えばパスクラサンを使った特産品なんかは高い評価をいただいて、何か有名なところの賞なんかもいただくんですけども、パスクラサンそのものの知名度がないので苦慮しているというような農家の声があるというふうにお聞きしますが、赤磐市として今後どのように取り組んでいくのか、確認をさせていただきます。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま治徳副委員長から御質問いただきましたパスクラサンのブランディングというか、今後どういうふうにしていくかということですが、私たちもパスクラサンが今かなり生産量が少なくなっていることについては、大変危惧しております。それで、やっぱり新規就農者の方たちも果樹なんかを植えて頑張っていきたいと申されておまして、パスクラサンのことも当然御紹介もさせていただくんですけども、中には苗木を植えておられる方もいらっしゃいます。ですが、やっぱり強要もできませんから、いかがですかという、なるべくソフトなんですけども、お願いとかそういったものはさせていただいて、農協さんなんかも当然販売されてるわけで、そのあたりを関係機関にもちょっと働きかけをお願いしてる次第でございます。

以上です。

○副委員長（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） すいません。課題は今、課長の説明でよく分かりましたけども、先ほどお聞きしたのは、パスクラサンそのものが知名度がなかなかないので苦慮していると、赤磐市のほうも積極的にアピールなんかもしていただきたいというような声もあるとお聞きしますが、そのあたりはどういうふうにお考えなのでしょうか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 治徳副委員長がおっしゃった知名度のことですけれども、これは全国の洋梨サミットとかが東京で年に1回あります。今までは職員も派遣したりしておりましたけれども、コロナからこっち、ちょっと行けてないんですね。そういったことももちろん、また今後、様子を見ながら進めてまいりたいと思いますし、もうちょっとどうやっていくかというのも検討の課題だと考えております。

以上です。

○副委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいですか。

○副委員長（治徳義明君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、これで質疑を終了したいと思います。  
その他については、もうございませんか。

ないですね、委員の皆さんも。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございます。

それでは、以上をもちまして産業建設常任委員会を閉会としたいと思います。

閉会に当たりまして、前田副市長より御挨拶をお願いいたします。

○副市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 前田副市長。

○副市長（前田正之君） 本日は、大変お忙しい中、産業建設常任委員会をお開きいただきまして、予定の議第55号につきまして慎重に御審査をいただきました。ありがとうございます。  
また、事業の進捗状況、その他では御意見等をいただきました。

本年度も残り数か月となってまいりましたが、いただいた御意見等も踏まえまして、しっかりと事業の進捗を図っていきたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、これで本日の委員会を閉会といたします。

大変御苦勞さまでございました。お疲れさまでした。

午前10時39分 閉会